

生産技術革新部門

長崎県諫早市 野田 伸一・桂子



- 経営規模：1.7 ha（花き 0.8ha、（スカビオサ 0.3 ha、草花 0.3 ha a、小菊 0.2 ha a） 水稻 0.5 ha、WCS 0.4 ha）

（注）数字は令和5年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 先代が行っていた水稻栽培から全国的に栽培が少ないスカビオサを主とする草花専業経営に変更し、栽培方法の確立後はオリジナル系統の作出や挿し芽による独自の増殖技術の開発、市場との契約取引等を進め、小面積でも収益が確保できる経営に取り組んでいる。
- ・ また、高温対策として軒高の高いフェンロー型ハウスを導入し、環境モニタリングができる制御装置の整備を行い、さらに灌水同時施肥システムを導入することで、収量が増加するだけでなく、品質も向上している。
- ・ 独自交配によるオリジナル系統品種は他にない花色・花型として市場から高評価を受けており、国内だけでなくアメリカでも高い評価を受け、その評判が国内でも広がったことから、国内での需要の拡大も進んでいる。